

「地域共生社会へ向けて」

～福祉専門職同士のネットワークの強化～

日程：2018年7月21日（土） 14:00-17:00（13:30～受付開始）

会場：札幌ひばりが丘病院 事務館3階ファンクションルーム

（札幌市厚別区厚別中央3条2丁目12-1）最寄の地下鉄 東西線「ひばりが丘」1番出口徒歩5分
※駐車場に限りがある為、なるべく公共交通機関のご利用をお願いします。

参加費：500円（資料代として）

対象：医療・介護・福祉・教育関係者

定員：100名（先着順での締め切りとさせていただきます）

主旨

昨今では、生活困窮・虐待・身寄りがなく家族疎遠・社会的な孤立等、生活上の課題が複雑に絡み合う事例が存在しています。1つの制度や領域のみでは対応が困難になってきており、より福祉専門職同士の連携や協働が必要とされています。そこで領域の垣根を越えて横断的な連携や実践に活かせるようなシンポジウムを企画したいと考えました。

また、平成30年度の診療・介護・障がい福祉報酬改定に伴う実践現場への影響も共有し合える場とし、人や資源が世代や分野を越えてつながる地域づくりについて、日頃から近隣で実践する皆様と一緒に考えたいと思います。

内容

- 講演 「地域共生社会について」～札幌市社協の事業方針～
柏 浩文 氏（札幌市社会福祉協議会）
- 各領域からの実践報告（報酬改定後の実務への影響・横断的な連携を必要とする事例報告 等）
 - 医療ソーシャルワーカーの立場から
上田 学 氏（北海道医療ソーシャルワーカー協会）所属：新さっぽろ脳神経外科病院
 - 介護支援専門員の立場から
一村 昌浩 氏（札幌市介護支援専門員連絡協議会）所属：新札幌パウロ病院 居宅介護支援事業所
 - 障がい領域の相談員の立場から
荒川 倫代 氏（札幌市自立支援協議会） 所属：相談支援事業所 ノック
- シンポジウム 座長：橋本 恭尚（北海道医療ソーシャルワーカー協会） 所属：真栄病院
「地域共生社会へ向けた横断的な連携の必要性」
上記シンポジストによる複合的な課題を抱えるケースの公開事例検討会

主催：一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会

共催：社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

一般社団法人 札幌市介護支援専門員連絡協議会

札幌市自立支援協議会

